

序

松田真一

奈良盆地の南西部にあたる葛城の地には、先史・古代を中心に歴史上重要な事跡が存在し、それらに関係する古墳や寺院など、多様な種類の遺跡を含む文化財が数多く残されている。葛城という言葉に接すると、五世紀代に強大な勢力を誇ったとされる古代大和の豪族葛城氏が想起されるが、葛城はまさにその葛城氏の枢要の地である。この氏族の活躍は正史にも記録として残されていることから、葛城の歴史は一地方史にとどまらず、日本古代政治史や文化史にも深くかかわりがあり、注目される所以でもある。

古代の葛城とされる地理上の範囲については諸説あり、必ずしも一致をみているわけではないが、本書では令制大和国の葛上郡かつじょうぐん・忍海郡おしみくぐん・葛下郡かつげぐん、および広瀬郡を加えた地域を葛城として扱っている。現在も北葛城郡や葛城市のように、その一部が行政区名称として引き継がれている。

ところで葛城地域は基礎自治体の行財政基盤確立のために推進された、平成の全国市町村合併の動きのなかにあつて、実質的に合併がほとんど進むことがなく、現在でも小規模な市と町からなる、入り組んだ行政区が維持されている。またそのような行政区割りが存在するなかで、葛城地域にあつては市町を越えた広域行政の動きもあるものの、分野も規模も限定的な範囲にとどまっている現状もある。

この地を歴史的資料や文化財の調査・研究のフィールドとして筆者らにとつてこの現状は、同じ環境のもとで育まれた地域文化や地域史の涵養かんようという、行政区を越えた文化的視点があまり意識されることがなく、ひいては葛城という共通する地域への帰属意識の高揚も、ほとんど感じられないように映る。今日まで文化や観光といった分野においては、行政として各市町それぞれが独自に啓発や発信を進めているのが実情で、これまでは葛城地域が市町をこえて一体となるなど、目立った取り組みを見ることもほとんどなかった。こういった葛城の現状は首都圏など近畿域外から、歴史文化資源の存在が高く評価されている「奈良（奈良市）」「斑鳩いかるが」「飛鳥」「吉野」（いずれも世界文化遺産登録もしくはその候補となっている）のように、「葛城」が歴史文化的に特色や価値を持った地域として、認識されているようには思えない。

しかしこの地域の歴史を紐解けば、かつては葛上郡・忍海郡・葛下郡に加えて広瀬郡からなる葛城という地域一帯が、とりわけ歴史的に深い結び付きが認められることは、文献史料はもとより、当地に遺されたさまざまな貴重な文化財が雄弁に語ってくれる。現在は行政分割されているものの、本来は葛城として共通の環境や風土と、歴史的基盤をもつ地域的なまとまりがあり、今後も葛城地域の歴史・文化の認識や評価とあわせて、葛城を一体として捉えた歴史叙述も必要になってこよう。

近年葛城地域の西縁をなす金剛葛城山系の山麓や、奈良盆地南西部にあたる沖積地一帯の地下から、当地の歴史の実像を解き明かすうえで重要な遺跡や出土品など、主に旧石器時代から奈良・平安時代にいたる、考古学的に大きな意義ある発見が相次いでいる。本書ではこれら地下に埋もれていて、最近までに発見された重要な遺跡を中心に紹介するとともに、単にそれぞれの文化財の概要紹介にとどまらず、考古学的調査に

よって得られた資料を操作・分析することで、新たな葛城の歴史叙述に反映させるといふ意図をもって臨んだ。

これまでも葛城の歴史に関する書籍は数多出版されているが、特定の時代史を取り上げたもののほか、個別の歴史的遺産や事跡など一つのテーマに絞った論考や解説としたものが多く、特に葛城の歴史で注目される先史から古代を通して、考古学の成果を反映した出版物はあまり目にする事はなかった。本書は葛城という地域がどのような環境や歴史的背景のもとで、隣接する地域との接触や融合を通して、特色ある地域文化を醸成したのかという視点で論述したもので、目次に掲げたように歴史上注目された重要なテーマを深く掘り下げると同時に、葛城の歴史について時代を追って学ぶことができる、通史も意識した構成としている。冒頭にも述べたように、特に古代の葛城の歴史は日本の古代史に深くかかわっており、葛城という地域史を学んだ視点から、列島の各時代の動向を眺めると、これまでとは違った見方や解釈もできるだろう。読後に先史・古代の歴史に対する興味をより広げることができれば、本書の役割もはたせたことになる。また本書に記述された歴史の舞台となった葛城の地を訪ねる際にも、資料として掲載している「葛城地域の遺跡分布図」を利用するなど、理解の助けとして役立てていただければ幸いである。

『葛城の考古学——先史・古代研究の最前線——』目次

カラー口絵

序 松田真一 i

葛城地域の遺跡分布図 xvii

第1章 葛城の黎明 1

第1節 葛城地域とは 松田真一 3

1 葛城の由来 3

葛城地名／葛城の語源と伝承

2 葛城の地勢と環境 4

地域の地理的環境／地域の環境と資源

3 葛城の領域と外域 9

葛城国／葛城の領域／葛城氏の統治にかかわる考古学成果／葛城と交通路／葛城氏と対外関係

第2節 サヌカイト鉱山の開発 松田真一 20

1	旧石器文化と二上山産サヌカイト	20
2	列島の旧石器文化研究の黎明／旧石器文化の発展／列島の剥片石器石材／有用な石材サヌカイト	
2	石器製作技術の特徴	23
	瀬戸内技法とは／石器製作の工程／サヌカイト原産地の遺跡／サヌカイト鉦山の発見	
	国府石器群の成立から衰退へ	
3	葛城地域の旧石器資料	30
	単独出土の旧石器／葛城地域における旧石器の発掘調査成果	
4	サヌカイトの原産地と消費地	32
	讃岐と二上山のサヌカイト／サヌカイトの消費地では／サヌカイトの運搬／石器製作技術集団と石材	
5	縄文時代以降のサヌカイト利用	39
	縄文時代のサヌカイト利用／弥生時代の石材の獲得と波及	
第3節	縄文社会の特質	44
1	定住生活への移行	44
	狩猟具の変革／移行期の石斧／土器の普及	
2	葛城の縄文集落	48
	松田真一	

	山麓や扇状地に立地する遺跡／低地に立地する盆地部の遺跡	
3	集落の構造と建造物	55
	クリ材を使った建物／掘立柱建物群と墓域	
4	資源環境への働きかけ	57
	埋没林の発見／不自然なクリの埋没林／里山の育成・管理	
5	縄文晩期の埋葬と社会	61
	盆地を見下ろす葬祭場／土坑墓と土器棺墓からなる墓地／複数体が発見された土坑墓 幼児を再葬した土器棺墓／再葬の風習／栄養障害による疾患の痕跡／抜歯の施術／叉状研歯の施術頻度	
第2章 初期農耕文化の展開と地域統合		
第1節 葛城の弥生集落と水田開発		
1	水田の経営	75
	弥生時代の始まり／弥生時代の時期区分／葛城地域のイネの痕跡／広大な弥生水田の発見 重層的な水田跡／遺跡を越えた水田の広がり／弥生時代の水田の構造／水田の風景 中西遺跡の里山的景観／水田以外の生業	
2	拠点集落の成立と消長	84
	金澤雄太	

	水田に対応する集落／拠点集落としての鴨都波遺跡／鴨都波遺跡の集落構造／高地性集落の展開	
	弥生時代の墓域／拠点集落を中心とした遺跡間のつながり／葛城地域中部以北の遺跡	
第2節	稲作のマツリ	金澤雄太
1	神性を帯びた青銅器	95
	青銅器の出現と普及／縄文時代のマツリ／銅鐸のマツリ／銅鐸の役割の変化	
2	葛城地域出土の青銅器	99
	名柄銅鐸・銅鏡／楡羅高間田銅鐸／観音山出土の銅鐸／銅鐸を模した土製品	
	葛城地域の銅鐸の特徴／銅鐸の埋納地／銅鐸の埋納時期	
3	資源や情報の流通	107
	弥生時代のモノの動き／サスカイトの動き／外来系土器の状況	
第3節	ムラからクニへ	関川尚功
1	集落の動向	112
	葛城地域の特性と遺跡／葛城の銅鐸出土地／平地の集落動向	
2	高地性集落の出現	116
	葛城北部の高地性集落／葛城中・南部の高地性集落／連係する高地性集落／高地性集落出現の契機と影響	

第3章 葛城氏の勃興と古墳文化……………123

第1節 台頭した地域の首長層……………125

1 葛城北部における首長墓の出現と系譜……………125

2 葛城南部における首長墓とその特色……………127

鴨都波遺跡と前期小型古墳／鴨都波遺跡の埴輪棺／埋葬形態が判明した鴨都波1号墳
棺の漆塗装具と石見型盾形埴輪

第2節 馬見古墳群と葛城の天皇陵……………131

1 馬見古墳群……………131

古墳研究の始まりと馬見古墳群／馬見古墳群の成立／広瀬郡に集中する馬見古墳群

葛城の中期大型古墳の動向／大型古墳とその周辺の古墳／馬見古墳群と葛城氏／馬見古墳群の被葬者

馬見古墳群と古市古墳群／葛城中部の中期古墳の出現／葛城地域の天皇陵／片岡の孝霊陵

神武天皇第一皇子と片岡／顕宗・武烈陵の存在／顕宗・武烈陵と古市古墳群／葛城南部の天皇陵

葛城南北地域と支配者像／葛城北部と百済／文献史料にみる百済との関係

2 王墓と石棺……………159

新山古墳の古式の石棺／葛城地域の長持形石棺

3 埴輪や木製品にみる古墳の葬祭……………161

第3節 葛城南部の初代首長と拠点集落	千賀 久
1 葛城と葛城氏	164
葛城氏の祖・葛城襲津彦／葛城の勢力範囲	
2 葛城にやってきた渡来人	167
渡来の契機・「倭人」と「質」／「新羅の美女」とともに	
3 初代の首長	170
初代首長墓・室宮山古墳／その人物像は	
4 拠点集落の設定	172
金剛山東麓の開発	
5 首長権威の創出	173
首長の祭祀場／祭祀場を再現した埴輪／初代首長の象徴性	
第4節 葛城の経済基盤	千賀 久
1 新しい産業の定着	180
渡来系工人集団の集住／南郷角田の複合生産／南郷工房群の生産力	
2 交通路・流通ルートの整備	183

	周辺地域との連携・河内への道／紀伊・宇智との連携	
3	南郷から忍海へ……………	186
	列島内の情勢／朝鮮半島の情勢／首長墓の移動とともに／襲津彦系葛城氏の衰退／南郷のその後	
4	首長墓の消長と葛城氏の盛衰……………	189
	首長墓の変遷／葛城氏系王族の陵墓伝承／首長墓にみる葛城氏の盛衰	
第5節 忍海の渡来人……………		
1	葛城のなかの忍海……………	197
	忍海地域とは／葛城のなかの忍海	
2	葛城の渡来人……………	199
	葛城の王と渡来人／忍海の渡来人	
3	脇田遺跡……………	202
	脇田遺跡の概要／脇田の鍛冶工房／忍海地域発展の背景	
4	忍海の渡来人……………	205
	脇田遺跡と寺口忍海古墳群／葛城・忍海の渡来人の実態	
5	忍海工房群の生産力……………	208
	忍海工房群と葛城山麓の群集墳／忍海工房群でつくられた製品／ヤマト王権と忍海	
		神庭 滋

第6節	黄泉の世界	神庭	滋
1	横穴式石室の導入		213
	新来の墓制／黄泉の世界／横穴式石室の導入		
2	畿内の横穴式石室		217
	畿内の初期横穴式石室／横穴式石室の拡散		
3	横穴式石室を築いた人びと		219
	副葬品にあらわれた特徴／横穴式石室伝来の背景		
4	寺口忍海古墳群		222
5	横穴式石室の埋葬のあり方		224
6	葛城の大型横穴式石室		225
	大型横穴式石室の登場／大型横穴式石室の被葬者像／牧野古墳		
	大型横穴式石室の出現にみる列島の基層文化		

第4章 仏教の隆盛と律令制度の確立……………235

第1節 葛城の終末期古墳における改葬墓

―三ツ塚古墳群の分析を中心に―……………泉武

1 三ツ塚古墳群と改葬墓……………237

三ツ塚古墳群の概要／初葬と追葬・改葬／三ツ塚古墳群の横穴式石室における追葬と改葬

2 改葬の諸相……………241

改葬のための横穴式石室／小石室の改葬墓／分析からみる人骨

3 葛城地域の改葬・追葬―人骨が出土している古墳―……………248

茶山古墳／寺口忍海H-34号墳／寺口忍海E-12号墳／兵家清水・菰谷3号小石室／弥宮池西1号墳

4 骨化空間としての石室利用……………256

5 家形石棺と石工集団……………259

6 三ツ塚古墳群の被葬者像……………261

身分表象遺物① 改葬墓13の革袋／身分表象遺物② 鈿帯

7 葛城地域における火葬の普及……………266

骨蔵器と火葬に付された階層

8 葛城地域の古墓……………268

高山火葬墓の分析―改葬墓としての視点―

まとめ……………273

第2節 律令国家と官道の整備……………西垣 遼 276

1 葛城を通る基幹路……………276

律令国家と官道の整備／研究小史／葛上斜行道路／鴨神遺跡の道路遺構

2 葛城地域北部（葛下郡）の路線……………282

葛下斜行道路／下田東遺跡の特性／古墳と近世街道

第3節 仏教の受容と飛鳥時代寺院……………西垣 遼 290

1 古代寺院の所在と造営者……………290

仏教の受容／瓦の来た道／葛城の飛鳥時代と造営者

2 瓦からみた葛城地域の寺々……………297

本格的伽藍造営前夜／川原寺との関係／王家の寺々

図表出典一覧……………313

索引

- 一、本索引は、遺跡名、事項からなる。
 一、配列は50音順とした。
 一、「葛城地域の遺跡分布図」(pp.xvii-xxi)に掲載する遺跡名については、
 ノンブルのあとに()で地図上の番号を付記した。

遺跡名

【あ行】

秋津遺跡 xx(107), 14, 76, 78-80, 82,
 99
 穴虫石切場遺跡 xix(74), 8, 260
 池上古墳 xviii(9), 138
 池田遺跡 xviii(35), 30, 31, 45, 53
 一本松古墳 xviii(14), 138, 139
 威奈大村墓誌出土地 (伝) xix(72),
 268-271
 今泉古墳 xix(53), 287
 馬見古墳群 7, 11, 12, 127, 131-137,
 139-147, 149-153, 160, 161, 166, 283
 馬見二ノ谷遺跡 xviii(8), 31, 32
 太田古墳群 xxi(121), 229
 大谷瓦散布地 xix(54), 153, 284, 302,
 304, 309, 310
 岡崎遺跡 xviii(36), 30
 乙女山古墳 xviii(10), 138, 139

【か行】

片岡王寺 xix(43), 147, 295-298, 301,
 304, 305
 鴨神遺跡 xxi(156), 165, 281
 鴨都波1号墳 口絵5, xx(101), 14,

128-130, 154
 鴨都波遺跡 口絵3, xx(103), 76, 85-
 93, 96, 104, 106, 107, 109, 115, 128,
 129
 加守火葬墓 xix(77), 268-270
 加守廃寺北遺跡 xix(76)
 川合大塚山古墳 xviii(4), 12
 観音寺本馬遺跡 口絵2, xx(100), 52,
 55-60, 63, 64, 66, 68, 69, 76, 90, 91,
 96, 97
 上牧観音山銅鐸埋納地 (伝) xix(55),
 96
 上牧久渡古墳群 xix(56), 117, 119,
 125-127
 かん山古墳 xviii(32), 138
 北花内大塚古墳 xx(98), 190, 191,
 198, 203, 226
 狐井遺跡 xix(64), 49, 282
 狐井稲荷古墳 xix(63), 117, 149, 150,
 192
 狐井城山古墳 xix(65), 149, 150, 160,
 192
 九僧塚古墳 xviii(5), 140
 百濟寺 xviii(25), 156
 倉塚古墳 xviii(15), 138

索引

- 香滝・葉井遺跡 xix(44), 116
極楽寺ヒビキ遺跡 口絵 6, xxi(151),
171, 173, 174, 186
巨勢寺跡 xx(118), 293, 295-298, 301
権現堂古墳 xx(119), 229
コンピラ山古墳 xviii(33), 138

【さ行】

- 西安寺跡 xix(40), 292, 295, 296,
298, 300, 301, 304
桜ヶ丘第1地点遺跡 xix(69), 26, 29,
34, 36, 47
佐味田宝塚古墳 xviii(21), 13, 131-134,
137, 142
地光寺西遺跡 xxi(136), 203
芝塚古墳 xix(193), 229
下田東遺跡 xix(59), 47, 283, 284,
286, 302, 304, 310
下茶屋遺跡 口絵 1, xxi(146), 45
下牧瓦窯 xix(46)
條ウル神古墳 xx(110), 226, 227, 230
城山古墳 xviii(1), 139, 143
新宮山古墳 xx(115)
新山古墳 xviii(27), 12, 13, 125, 129,
131-133, 142, 153, 159, 160, 283
巢山古墳 口絵 5, xviii(19), 6, 12, 135,
138, 139, 144, 155, 159, 161, 162,
300, 301
石光山古墳群 xx(99), 156, 203, 208,
209
石光寺 xix(79), 295-297, 304

【た行】

- 當麻寺 xix(84), 295, 297
高山石切場跡 xix(67), 9, 260
高山火葬墓 xix(66), 264, 269, 271,
272, 274
竹内遺跡 xix(87), 16, 45, 49, 50, 61,

62, 76, 92, 93, 96, 97, 109, 115, 117,
184, 278

- 只塚廃寺 xix(81), 295-298, 301, 303
玉手遺跡 口絵 2, xx(104), 54, 63, 76,
80, 96, 97
団子山古墳 xxi(128), 190, 203
築山古墳 xviii(34), 12, 132, 133, 135-
138, 142, 153
鶴峯荘第1地点遺跡 xix(68), 25, 26,
28, 34, 36, 45
寺口忍海古墳群 xxi(133), 169, 203,
205-209, 222-225, 228, 249, 251,
253
寺口千塚古墳群 xxi(125), 203, 208,
228
寺戸廃寺 xviii(11)

【な行】

- 名柄遺跡 xxi(144), 172, 191
中良塚古墳（高山塚1号墳） xviii(2),
139
名柄銅鐸・銅鏡出土埋納地 xxi(145),
96, 99-102, 105, 106, 114, 115
ナガレ山古墳 xviii(18), 138
南郷角田遺跡 xxi(148), 180-182
南郷大東遺跡 口絵 6, xxi(150), 173,
174, 176, 186, 188, 189
南郷安田遺跡 xxi(149), 173, 175, 176,
181
南郷柳原遺跡 xxi(147), 180, 181
新木山古墳 xviii(23), 12, 137-139
二光寺廃寺 口絵 4, xxi(152), 294-296
西北窪遺跡 xxi(153), 46
尼寺廃寺（尼寺北廃寺） xix(47), 147,
231, 296, 297, 299-303, 305-308,
310
尼寺南廃寺 xix(48), 295, 299-301,
305

【は行】

- 牧野古墳 xviii(22), 6, 134, 142, 143,
226, 227, 230, 231, 309, 310
- 箸尾遺跡 xviii(7), 52
- 火野谷山古墳群 xxi(131), 203, 270
- 火振山古墳 xxi(129), 144, 187, 190,
191, 198, 203, 205, 226, 228
- 平野 1 号墳 (車塚古墳) xix(50)
- 平野塚穴山古墳 xix(52), 156, 278,
309
- 平野窯跡群 xix(49), 231, 305, 307,
310
- 平林古墳 xix(96), 226, 228, 229, 261
- 笛吹古墳群 xxi(140), 203, 208
- 笛吹神社古墳 xxi(138), 203
- 二塚古墳 xxi(127), 190, 203, 226-229
- 舟戸・西岡遺跡 xix(41), 76, 93, 116,
117
- 文代山古墳 xviii(12), 139, 160
- 別所下古墳 xviii(16), 132, 134, 139

【ま行】

- 三倉堂遺跡 xviii(39)
- 三ツ塚古墳群 口絵 4, xix(91), 237,
238, 247, 248, 253-255, 259-262,
265-267, 271, 273, 274
- 水泥塚穴(山)古墳 xx(120), 226,
229
- 室宮山古墳 口絵 3, xx(112), 6, 7, 12,
13, 128, 135-137, 140-142, 144, 153,
160, 167, 170-173, 175-178, 183, 189-
191, 199, 200, 204, 205, 228

【や・わ行】

- 屋敷山古墳 口絵 4, xxi(126), 12, 144,
160, 187, 190, 191, 198, 203, 205,
226, 228

- 山口千塚古墳群 xxi(141) 203
- 掖上鎌子塚古墳 xx(106), 12, 136, 137,
141, 151, 160, 166, 177, 178, 189, 191
- 脇田遺跡 xxi(134), 47, 50, 76, 90-92,
165, 169, 192, 198, 202-206, 208-
210, 228

事項

【あ行】

始良丹沢火山灰 (AT 火山灰) 22, 32
 穴虫峠 15-17, 183, 194, 286, 296
 飯豊青皇女 (飯豊皇女) 140, 190,
 195, 210, 211
 家形石棺 口絵 7, 8, 218, 226, 230,
 240-244, 248, 249, 254, 255, 259-
 262, 266, 273
 家形埴輪 口絵 6, 162, 177, 214-216
 石庖丁 88, 108
 井戸 口絵 3, 86, 87
 糸玉 口絵 2, 54, 55
 遺物集中地点 28, 32, 35, 37, 39
 石見型盾形埴輪 130
 岩屋峠 15, 114, 240, 260, 261
 馬見丘陵 6, 11-13, 31, 53, 93, 112-114,
 116, 117, 125, 131-135, 138, 142, 143,
 147, 150, 155, 160, 166, 192, 230,
 259, 282, 283
 駅伝制 276
 延喜式 12, 84, 105, 142, 145, 149-151,
 158, 166, 198, 203, 231
 押圧縄文土器 47
 大壁建物 (大壁住居) 181, 193, 201
 大坂越 113, 114, 117, 144, 296
 大阪層群 23, 25, 27
 大坂関 (大坂路・大坂道) 287
 押型文土器 50, 53
 押坂王家 296, 299, 300, 303, 310
 忍坂彦人大兄皇子 143, 231
 忍海 12, 18, 165-167, 183, 184, 186-
 190, 192-194, 197-199, 201, 202,
 205, 206, 210-212, 294, 295, 304

忍海郡 (忍海評) 3, 10-12, 197-199,
 212, 295

【か行】

改葬墓 (改葬骨) 口絵 7, 237-239,
 242, 243, 246, 249, 254, 255, 262,
 263, 266, 271-274
 角錐状石器 29, 30, 34, 38
 鍛冶 (鍛冶具) 172, 180, 183, 185,
 186, 188, 189, 193, 194, 200, 201,
 204, 207, 208, 228
 風の森峠 5, 17, 113, 118, 165, 166,
 184, 194, 281
 火葬墓 237, 238, 262, 264-274
 鈿帯 262, 263, 265, 266
 片岡女王 295, 299
 片岡 13, 112, 145-150, 152, 153, 157,
 158, 283, 288, 295, 296, 298, 299,
 305, 308-310
 型押し忍冬唐草文軒平瓦 299
 葛下郡 3, 11-13, 135, 145, 147, 150,
 155-158, 198, 282, 288, 295, 309
 葛下斜行道路 282, 283, 286
 葛上郡 3, 11, 12, 137, 151, 164, 198,
 280, 295
 葛上斜行道路 280-282, 294
 葛城県 10, 18, 210
 葛城国 9-11, 188
 葛城襲津彦 4, 11, 142, 164, 165, 167,
 168, 188, 193, 195, 199-202, 296
 葛城円 188
 画文帯環状乳神獸鏡 口絵 4, 14, 125
 加耶 167, 168, 170, 171, 180, 207,
 209, 220, 221, 223

河内 5, 15, 16, 49, 105, 108, 109, 113-117, 119, 127, 133, 137, 143, 144, 146, 150, 152, 153, 166, 182-185, 187, 189, 194, 237, 277, 283, 284, 287
 灌溉 78, 80, 82
 環濠集落 75, 84, 85, 95
 釵子 220, 251
 韓式系土器 16, 200, 202, 204
 官道 92, 276
 紀伊 18, 109, 110, 113-115, 118, 119, 128, 136, 137, 153, 154, 183-185, 187, 195, 268, 281
 鬼面文軒丸瓦 294, 296, 303
 居館 14, 105, 172
 局部磨製石斧（神子柴型石斧） 38, 46, 47
 鋸齒縁状削器 30
 百濟 154-159, 165, 167, 168, 180, 181, 187, 188, 199, 201, 207, 208, 219-221, 223, 290-292, 300, 301, 304, 306
 ——鳥含寺 300
 ——大井宮 13, 157
 ——記 18, 142, 165, 168, 199
 ——大寺 293, 299
 ——王善光 157
 ——宮 13
 屈葬（仰臥屈葬） 64
 群集墳 7, 89, 187, 193, 194, 202, 208, 209, 222, 228, 248, 275, 286
 畦畔 81, 83
 堅果類 52, 59
 顯宗天皇 145, 150, 198
 玄武門の変 148, 149
 国府型ナイフ形石器 24, 26-30, 32, 34, 36
 高句麗 17, 167, 187, 188, 220, 221, 291, 292, 306

孝昭天皇 151
 好太王碑 17
 高地性集落 89, 90, 92, 93, 112, 116-120, 125-127
 孝徳天皇 142, 291
 古事記 3, 4, 16, 162, 164, 197, 198, 211, 214, 277, 278, 280
 巨勢氏 17, 154, 230, 295
 骨蔵器（骨蔵外容器） 267, 268, 270-272
 金剛砂 9

【さ行】

祭祀場 173-176, 178, 186
 細石器文化 44
 細石刃 29, 30
 再葬（二次葬） 53, 63-66
 叉状研齒 68, 69
 サヌカイト 口絵 1, 8, 15, 16, 20-31, 33-42, 46, 49, 52, 54, 108, 109, 117, 282, 283
 三角縁神獸鏡 口絵 5, 14, 128, 129, 170
 式内社 12, 84, 105, 166
 斜縁神獸鏡 126
 重弧文軒平瓦 283, 284, 292, 303, 304
 狩猟具 35, 44-46, 54
 上宮王家 299, 300
 聖徳太子 147, 295, 298, 299, 301
 新羅 7, 18, 151, 165, 167, 168, 185, 199, 201, 220, 290, 291, 293, 294, 296, 298, 299, 301, 306
 人骨集積 249-251, 253, 258
 壬申の乱 277, 278, 287, 294
 推古天皇 210, 290
 水田 口絵 3, 75, 77-85, 87, 88, 91-93, 98, 99

索引

- 小区画—— 81
須坂峠 136, 151
聖明王 290
石刃 21, 24
石棒 49, 50, 54, 96, 97
石工集団 221, 259, 261, 262, 266
瀬戸内技法 口絵 1, 23-26, 28-32, 34-38, 282
尖頭器 21, 31, 45, 46
木葉形—— 46
菱形—— 32
柳葉形—— 46, 53
有茎—— 44-46, 52, 53
蘇我稲目 290
蘇我馬子 210, 290, 298
蘇我蝦夷 298
蘇我倉山田石川麻呂 293, 309
素弁蓮華文軒丸瓦 292, 301

【た行】

- 武内（建内）宿禰 4, 164
高市皇子 142, 143, 148, 153, 283, 309
竹内峠 15-17, 49, 113, 114, 183, 184, 194, 277, 278
多鈕細文鏡 口絵 4, 100, 101, 105, 114
竜山石 口絵 7, 170, 190, 192, 205
竪穴系横口式石室 206, 207, 217, 218, 222-224, 226, 228
竪穴式石室 口絵 7, 6, 140, 159, 160, 170, 190, 205, 213, 228
竪穴建物（竪穴住居） 86-88, 93, 106, 172, 175, 182
単弁六弁蓮華文軒丸瓦 299
茅淳王 142, 143, 157, 283, 295, 307, 309, 310
鑄造 96, 102, 158
——鉄斧 207, 208

- 貯蔵穴 52
直弧文 162, 174-176
造り付けカマド 202
筒形銅器 128
翼状剝片 口絵 1, 24-28, 30, 32, 34-36
劍根 10
鉄素材 181, 182, 184, 185, 187, 193, 207, 221, 228
天智天皇 294, 295, 301, 304, 309, 310
天武天皇 142, 277, 291, 294, 309
道照 266
銅鐸 口絵 4, 96-107, 113-115, 119
石上—— 119
上牧—— 99, 102, 103, 105, 106, 114, 115, 117, 119
竹之内—— 119
動物の咬痕 246
土器棺墓 口絵 2, 49, 51-56, 61-65, 69
土器溜まり 52, 53, 55
土偶 49, 50, 55, 96, 97
土坑墓 49, 53-56, 61-69, 86, 87, 237, 238, 273
凸面布目平瓦（凸布瓦） 283, 294, 301-304
渡来人（渡来系） 156, 157, 159, 165-167, 169, 174, 180, 181, 185, 192, 193, 197, 199-202, 204-209, 220, 221, 224, 282

【な行】

- 長持形石棺 口絵 7, 6, 139, 159, 160, 170, 190, 205, 228
長屋王 13, 148, 153, 287, 288, 309, 310
二上山 6-9, 12, 15, 20, 22, 23, 25, 27, 28, 30, 31, 33-41, 49, 108, 109, 112,

117, 149, 150, 166, 237, 260, 270,
278, 282, 283, 295, 296
日本書紀 3, 4, 10, 15, 16, 137, 142,
147-152, 161, 162, 164, 165, 184, 185,
188, 192, 197, 199, 201, 202, 210,
211, 214, 277, 278, 280, 290, 291,
294, 298, 299

【は行】

配石遺構 49, 61, 62
抜歯 66-69
埴輪棺 129, 132, 139
盤状剥片 口絵 1, 24, 26, 31, 33-36
敏達天皇 13, 142, 147, 156, 157, 231,
296, 299, 301, 310
熨斗 169, 219
平石峠 15, 237
広瀬郡 3, 11, 13, 135, 141-143, 146-
148, 156-158, 231, 282, 284, 300,
302, 309
武烈天皇 149, 150, 152
墳丘墓 93, 120, 125-127
方形—— 93
方形周溝墓 86, 87, 90-92, 120, 125,
130, 203
掘立柱建物 14, 54-56, 86, 87, 175,
184, 287, 294

【ま行】

埋没林 口絵 3, 57-60, 82
牧 189, 210
水越峠 15, 113, 114, 137, 166, 183,
298
喪船 口絵 5, 162

【や・ら・わ行】

ヤマト王権 9, 10, 14, 170, 171, 178,
183, 184, 186-190, 192-194, 210,

212, 228
東漢氏 294, 296, 302
雄略天皇 137, 150, 210, 211, 280
靱 129, 130
漆塗—— 口絵 5, 14
横穴式石室 口絵 7, 134, 142, 144,
146, 206, 213, 214, 216-232, 238,
239, 241, 248-251, 254, 256, 259,
273, 286
横大路 15, 17, 113, 278
黄泉（黄泉国） 213, 214
隆起線文土器 45
流紋岩質溶結凝灰岩 口絵 7, 8
令辨法師 304
倭（倭国・ヤマト） 9, 10, 16-18, 167,
168, 187, 197, 210, 211, 220, 221,
270, 277
ワインシェンク 22